課題シート（ヘルスコミュニケーション）

今日の日付［＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿］
あなたのお名前［＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿］
あなたの研究科・学部・社会人など所属属性［＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿］
あなたの学籍番号［＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿］
あなたの電子メールアドレス（質問や照会への返信用）［＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿］

１．クロロキン事件において薬剤師が被害防止あるいは最小化に貢献できることがある考えられるところはあったでしょうか。一般論ではなく具体的に考えましょう。
２．上の１．でえられた考察から、このヘルスコミュニケーションの授業とどのように、受講生として関連づけることができるでしょうか。皆さんの提案をお聞かせください。
３．クロロキンの被害者が街頭でビラを配っていましたが、多くの人々が無関心に通り過ぎていきました。それはなぜでしょうか。このような無関心な人々（社会）への働きかけを、薬剤師としてどのようにうけとりますか。
４．薬剤師の、患者に対する現場でのコミュニケーション以外にも、さまざまな箇所で、薬剤師会という業界団体ならびに日本薬学会などの学術団体は、社会に対してコミュニケーションを展開しています。皆さんが考える「社会に対するコミュニケーション」を立案＝デザインしてください。
５．国が承認した薬にあなたが疑問を感じたとき（安全性、有効性）、あなたは薬剤師個人としてどのように行動すれば、このような薬害被害を軽減ないしは無くすことができるとおもいますか。

■この課題の出典：資料：DVD『クロロキン事件：映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」』（財）医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団制作

※このシートはＡ３用